

## 平成27年度 第2回 教育課程編成委員会議事録【こども環境科】

日 時 平成28年2月3日(水) 15:00～16:20

場 所 学校法人 北海道学院 釧路専門学校 音楽室

出席者 和田 敏幸 (釧路市私立保育園連合会 会長)  
工藤 映美 (釧路市私立幼稚園連合会 理事・大楽毛よしの幼稚園 教頭)  
諫山 邦子 (北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授)  
藤原 富美彦 (釧路専門学校 校長)  
木幡 都子 (釧路専門学校 副校長)  
武藤 篤訓 (釧路専門学校 こども環境科学科長)  
藤本 朋美 (釧路専門学校 こども環境科 教務担当)  
若生 みゆき (釧路専門学校 事務主任)

配付資料 ○企業等委員 専任理由のご検討

○平成27年度 第1回 教育課程編成委員会議事録(こども環境科)

○平成27年度 第1回 教育課程編成委員会議事録(介護環境科)

次 第 1) 挨拶(校長 藤原)

2) 職業実践専門課程認定の進捗報告、申請書類等の説明(副校長 木幡)  
・施設のパンフレット等を2月15日頃、ご提出頂く。

3) 委員の出席状況の確認(副校長 木幡)

4) 第1回 教育課程編成委員会の議事録の確認(副校長 木幡)

5) 教育課程編成委員の意見、意見活用授業科目、授業内容の改善・工夫、質疑応答等

・実習についての報告。(教務 藤本)

・実習に関して何か問題点はないかと提起。(校長 藤原)

### 【学校側から報告】

メンタル面の弱い学生が毎年おり、段階を追って指導をしている。1年次に保育者としての基本的指導、2年次は専門的技術についての指導と、現場にも配慮を頂きながら実習を行っている。また、施設により評価の偏りがある事も問題を感じている。養成校と現場が対等な立場で語り合い、共通の評価基準を持てるよう、幼稚園連合会との方向性が確認できている。今後、話し合いを継続して行く。(学科長 武藤)

### 【工藤委員から意見】

実習の受け入れは喜んで対応している。実習生に色々な事を教えて行かなければならない中で、実習が行いやすいよう工夫している(希望を取ったクラスに配属など)。ただ、命を預かる現場なので、許されないこともある。色々な園に見学できるようなカリキュラムを望んでいる。

**【学校側から回答】**

検討段階ではあるが、養成校として学生をボランティアで現場に出していきたいという思いがある。実習前に色々な体験をできるようなカリキュラムを検討している。ただ、学生が「これだけではできなければならない」事をどうクリアしていくのが問題点。現場で求められる事を意見交換させて頂きたい。(教務 藤本)

**【和田委員から意見】**

いきいきとしており、優しさがにじみ出るような感じの学生が少なくなっている。実習の反省会などでは基本的な事を話し合っていく。実習報告会等に呼んでいただいて、アドバイスできれば良いと考えている。(和田委員)

6) その他

- ・次回の日程確認 (平成28年5月27日 (金) 15:00～を予定)

以上  
(記録: 若生)

## 第2回 教育課程編成委員会議事録【介護環境科】

日 時 平成28年2月3日（水）15:00～16:20

場 所 学校法人 北海道学院 釧路専門学校 音楽室

出席者 小野 信一 （社会福祉法人 釧路市社会福祉協議会 事務局長）  
伊東 義光 （日本介護福祉士会北海道支部根釧地区支部 支部長  
道東勤医協 ヘルパーステーションすこやか 所長）  
藤原 富美彦 （釧路専門学校 校長）  
木幡 都子 （釧路専門学校 副校長）  
渡邊 千華子 （釧路専門学校 介護環境科学科長）  
吉村 寿人 （釧路専門学校 教務主任・介護環境科 教員）  
若生 みゆき （釧路専門学校 事務主任）

配付資料 ○企業等委員 専任理由のご検討  
○第1回 教育課程編成委員会議事録（こども環境科）  
○第1回 教育課程編成委員会議事録（介護環境科）

次 第 1) 挨拶（校長 藤原）

2) 職業実践専門課程認定の進捗報告、申請書類等の説明（副校長 木幡）  
・施設のパンフレット等を2月15日頃、ご提出頂く。

3) 委員の出席状況の確認（副校長 木幡）

4) 第1回 教育課程編成委員会の議事録の確認（副校長 木幡）

5) 教育課程編成委員の意見、意見活用授業科目、授業内容の改善・工夫、質疑応答等

- ・1月22日「アクティビティインストラクターセミナー」、1月23日「アクティビティ・ケア フォーラム」開催終了および介護実習に関する報告（学科長 渡邊）

### 【小野委員から質問】

他大学に伺った際、巡回指導以外に現場とコミュニケーションを取りながら、学生に対しても現場に対してもアフターケアを行っている学校があったが釧路専門学校は何か対応をしているのか。

### 【学校側から回答】

実習カンファレンスは、学生・現場指導員・教員が参加して行う。また、実習報告会ではディスカッションができるようにブース形式で行っている。一方的な報告ではなく、学年・学科を超えて関わりが持てるようなものになっている。（学科長 渡邊）

- ・実習に関して何か問題点はないかと提起。（校長 藤原）

### 【学校側から報告】

実習中にメンタル面で指導者とのトラブルになった際でも、大半の学生はこころの処理をしながら進んで行ける。面談を進める等、指導者と密に連絡を取りながら対応している。（学科長 渡邊）

**【小野委員から意見】**

実習報告会を行っているのは素晴らしい。実習先職員に出席案内をしてみてもどうか。準備等が大変だろうが、学生のモチベーションに繋がると思うので提案する。より充実した実習の為に三位一体で行ってもらいたい。

**【学校側から回答】**

5週間実習報告会で数施設の指導者に声をかけたが、参加には繋がらなかった。非常勤講師にも声をかけ、6名の講師に出席頂けた。来年度は早い段階で実習先にご案内したい。(学科長 渡邊)

**【小野委員から意見】**

(社会福祉士養成校の実習では) 実習評価基準が学校と施設とで共通しておらず悩む。評価基準の擦りあわせを希望したいが、釧路専門学校は評価基準の擦りあわせはしているのか。

**【学校側から回答】**

釧路市内(介護福祉士)養成校で実習連絡協議会を平成17年度より行っている。当初は、各養成校の実習時期が重ならないための会議だったが、近年は「介護過程書類」「実習評価」「実習日誌」などの様式の見直しや、学生指導の共通理解など、質の高い人材育成に関する議論も飛び交う会議になっている。このような会議は道内でも珍しい。(学科長 渡邊)

**【伊東委員から意見】**

他職種で話し合うのが大事。可能ならば授業の中で事例検討できると面白いと思う。

**【学校側から回答】**

来年度組み込んでいきたい。現在、医師・看護師・作業療法士の方に非常勤講師で来て頂いている。今回のアクティビティ参加者は他職種(介護士・栄養士)が発表を行った。(教務 吉村)

6) その他

- ・次回の日程確認(平成28年5月27日(金) 15:00~を予定)

以上  
(記録:若生)